

平成 29 年度 事業 報告 書

平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日

NPO 法人 住学協同機構筑豊地域づくりセンター

1. 事業の成果

30 期は、「市民遺産研究会」、「古代のロマンに酔う研究会」、「飯塚（中心市街地）このままで委員会」、「住み続けたい町・住んでみたいまち～勝手に提案研究会」と「つかこうへいと筑豊研究会」、および「情報発信/データデザイン研究会」、「学生ビジネス研究会」が設置され、住民主体の 5 研究会と学生主体の 2 研究会の計 7 研究会となり、新たな視点で地域と連携した研究活動が進められました。30 期での大きな特徴は、29 期と同じように住民主体の 5 研究会のうち 4 つの研究会が「団体会員」が主体として活動、1 つの研究会は個人会員が活動してきたことです。

例えば、「市民遺産研究会」は、最長老の長弘先生を中心に遠賀川をテーマに 10 回の研究会の開催や忠隈炭鉱のボタ山登頂に挑むなど地道な活動で成果を上げております。

「古代のロマンに酔う研究会」は、外部に実行委員会を立ち上げ、穂波公民館において「遠賀川上流古代祭り」が盛大に開催されました。

「飯塚（中心市街地）このままで委員会」は、新規の 20 代の市職員の参加があり、街道まつり綱引大会の開催や「つなぐカフェ」との連携についてなど、その活動を広げてきました。

団体会員の「福岡県建築士会飯塚地域会」が運営している「住み続けたいまち・住んでみたいまち～勝手に提案研究会」は、近畿大学産業理工学部建築・デザイン学科の先生との連携を深め、「飯塚つなごう PROJECT」を立ち上げて新飯塚駅前の商店街の活性化について提案をし、学生によってその成果の発表会が開催されるなど、今後の活動が期待されます。

「つかこうへいと筑豊研究会」は、6 回の研究会を開催し、8 回忌の開催やつかこうへいの追悼番組の DVD を観るなど「つかこうへい生誕 70 周年」の取り組みなどの話し合いを続けており、今後の活動が期待されます。

「情報発信/データデザイン研究会」は、地域づくりセンターと筑豊ゼミのウェブサイトの保守・管理と Wordpress を用いてリニューアルが進められました。

「学生ビジネス研究会」は、コーヒープロジェクトを立ち上げ 10 回の研究会を開催し、販売をしてその難しさを経験した。また、「つなぐカフェ」の準備協力として、事例研究のための視察などを行っている。

本年度の「地域づくりセミナー」は、近畿大学の太田先生と長谷川先生、および西日本新聞社の西村総局長の 3 名を講師にお願いし、講演を行いました。

筑豊の地域おこし団体との交流については、嘉飯都市圏活性化推進会議や福岡県主催の助成事業説明会、および飯塚市中心市街地活性化協議会・福岡県中小企業団体中央会などの主催の講演会などに参加した。地域おこし団体との交流の強化については今後の課題である。

2. 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の 人数	受益対象 者の範囲 及び人数	支出額 (千円)
地域社会の振 興発展に関す る情報の収 集・提供事業	住学協同の新たな発展を目指し、筑ゼミの30周年記念フォーラムの開催と近畿大学の先生と地域の有識者を講師に地域づくりセミナーを3回開催した。	平成29年7月29日、11月28日、12月21日、平成30年2月10日	ことぶき会館 飯塚市役所多 目的ホール、交 流プラザ、	10名	筑豊地区 の会員と 地域住民 等約210名	429
むらおこし・地 域づくりに関 する普及啓発 事業	地域おこしの普及啓発の講演会などに参加し、その情報発信に努めた。地域の建築士会や近大の先生・学生などによる飯塚つなごうPROJECTが建築提案と発表会を行った。また、古代祭りを実施した。	平成29年9月3日、9月25日、10月15日、10月22日、11月13日、平成30年1月19日	飯塚市役所、 飯塚総合庁舎、 穂波公民館 立岩公民館 ホテル日航	15名	筑豊地区 会員等延 べ約400名	364
地域社会の振 興発展に関す る調査・研究	第30期筑豊ゼミの研究会の運営を支援し、研究会活動の推進を図った。	平成29年4月~30年3月 月刊研究会報の発行	近畿大学産業 理工学部、	20名	会員延べ 約220名	287